

不審電話に関する事例

平成 27 年 5 月 26 日（火）午前 9 時頃、静岡県牧之原市の被保険者（75 歳女性）宅へ市役所の職員を名乗る男性から、「昨年 9 月頃に青い封筒で還付金の手続きの通知を発送したが、手続きをしたか。」と電話があった。被保険者は、封筒を確認していないため「手続きをしていない。」と答え、「申請期限が来ているので取扱銀行を教えてください。」と言われたため、銀行名を教えたところ「後ほど、銀行の行員から電話がある。」と言われ電話が切れた。

その後、銀行の行員を名乗る男性から連絡があり「病院の ATM でないと手続きができないので病院に行ってください。そこに担当者がいるので操作を教えます。」と伝えられた。

病院に行くと、携帯電話に連絡があり「担当者が対応できないので、操作方法を教えます。」と言われ、指示通り操作して約 26 万円を振り込んだ。操作後、行員から「今操作した手続きが無効になるので、1 日は銀行の手続きをしないでください」と言われ、電話が終了した。

翌日（5月27日）市民相談センターに相談があり、関係課に確認したが還付金は発生していないことから還付金詐欺であることが判明した。

不審な電話等があった場合、広域連合、市町村後期高齢者医療担当または最寄りの警察へ御相談ください。

問い合わせ先：宮崎県後期高齢者医療広域連合

0985-62-0921（業務課）